

# 平成30年度岐阜県公立学校教員採用選考試験志願書

様式 1

志願種別(○で囲む)		教科(科目)		試験の免除等 (該当者は○で囲む)		受験番号	
小 小 小 小 小 中 中 中 中 高 高 高 特 特 養 栄 一 多 特 算 理 英 多 ス 障 英 ス 障 障 障 般 化 支 数 科 語 化 特 特 特 特 支 特 教 教		中・高・中高特別選考のみ記入		期 特 教 教 前 現 繼 英 付 任 院 職 論 年 統 語 職 院 院 職 一 常 資 院 院 院 次 勤 格 院 院 院 合 勤 講 院 院 院 職 職 等		※	
ふりがな				性別		男 ・ 女 (○で囲む)	
氏名				生年月日		昭和 年 月 日 生 平成 (平成30年4月1日現在) 歳	
現	本人						
住	郵便番号		電話(自宅・呼)		-		
			(携 帯)		-		
所	郵便番号		電話(自宅・呼)		-		
出身高等学校	(国・県・市・私)		高等学校		科		( $\frac{S}{H}$ )年3月卒
出身大学	(国・公・私)		大学		学部		学科(専攻) ( $\frac{S}{H}$ )年3月 (卒・卒見込)
出身大学院	(国・公・私)		大学大学院		科		課程 ( $\frac{S}{H}$ )年3月 (修・修見込)
高校での部活動				大学での部活動			
ボランティア活動への参加及び指導の経験							
スポーツ分野等において国際経験又は全国大会に出場し、顕著な成績を残した場合は、その成果を具体的に記入すること。							
職歴 ・ 現在勤務している場合は必ず記入すること。(自営業も含む) ・ 学校に在職中の者は、国公立の別を明記し、勤務形態に○を打つこと。 (平成29年5月現在)							
現在の勤務先		所在地		期間		勤務内容	
				年 月～ 年 月		勤務形態	
						正規・常勤・非常勤	
取得又は取得見込み教員免許状 ( )には教科名・領域名を記入し、該当する免許に○を打つこと。図書館司書教諭の資格は「その他」の欄に記入すること。(取得見込みは朱書)							
小学校	専修・一種・二種		特別支援学校	( ) 専修・一種・二種		幼稚園	専修・一種・二種
中学校	( ) 専修・一種・二種			( ) 専修・一種・二種		養護教諭	専修・一種・二種
高校	( ) 専修・一種			( ) 専修・一種・二種		栄養教諭	専修・一種・二種
				(注) 従来の免許は以下の領域名に相当する。 養護学校免許→知的障害、肢体不自由、病弱 盲学校免許→視覚障害 聾学校免許→聴覚障害			
受験上配慮すべき身体上の障がいがあれば記入すること。				障がい者特別選考の身体障害者手帳			
				交付機関		都道府県	交付番号 第 号
				障がい級		級	障がい名

※教員免許状の取得見込みについて、状況に変化が生じた場合は、必ず教職員課採用担当宛て連絡すること。

※印は記入しないこと

裏面も必ず記入のこと。

該当するものを○で囲む。

- (1) 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む）で……………ある・ない
- (2) 禁錮以上の刑に処せられたことが……………ある・ない
- (3) 教員免許状の取上げ処分を受けたことが……………ある・ない
- (4) 懲戒免職処分を受けたことが……………ある・ない
- (5) 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党や  
団体を結成したこと、又はこれに加入したことが……………ある・ない

この志願書の記載事項は事実であり、正確であることを誓います。

平成29年 月 日

氏名

(注) 記載事項が事実と相違する場合は、教育公務員として採用される資格を失うことがある。

(以下については、ア～ウに該当する者のみ記入のこと)

- ・ア 英語特別選考（高等学校教諭英語）志願者
- ・イ 英語資格等保有による免除希望者（中学校教諭英語）
- ・ウ 小学校教諭英語志願者

検 定 試 験 名	成 績	取 得 年 月 日
実用英語技能検定	級取得	H・S 年 月 日
TOEFL 得点	点取得	H・S 年 月 日
CBT 得点	点取得	H・S 年 月 日
iBT 得点	点取得	H・S 年 月 日
TOEIC 得点	点取得	H・S 年 月 日

(以下については、岐阜県教諭経験者として免除等を希望する志願者のみ記入すること)

	勤 務 校	勤 務 期 間
新	(退職時)	年 月 ～ 年 月
過 去		年 月 ～ 年 月
		年 月 ～ 年 月
		年 月 ～ 年 月

※志願種別と同じ校種、職名での勤務歴であること。